

第61回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会 実施要項

《夢ふる とちぎ路駅伝》

主 催 (一財) 栃木陸上競技協会、宇都宮市、栃木市、壬生町、参加郡市町各市町教育委員会、参加郡市町体育協会、下野新聞社

特別協賛 J A 共済連栃木、栃木信用金庫、グランディハウス

後 援 栃木県、栃木県教育委員会、(公財) 栃木県体育協会、栃木県高等学校体育連盟、栃木県中学校体育連盟、NHK宇都宮放送局、栃木放送、エフエム栃木

協 力 栃木県警察本部、宇都宮中央・宇都宮南・栃木警察署、栃木県交通指導員連合会、宇都宮土木事務所、栃木土木事務所、栃木県公園事務所、下野農業協同組合、栃木市食生活改善推進団体連絡協議会吹上グループ、栃木市太鼓和蔵会、コカ・コーラ ボトラーズジャパン、パナソニックアプライアンス社、ミズノ、栃木ゴールデンブレース、エイジェック女子硬式野球部、マルシェ安塚店、大神神社

テレビ放送協力 とちぎテレビ

記録運営協力 NTT東日本 栃木支店

車両・協賛 栃木県日産グループ (栃木日産、日産プリンス栃木、日産自動車栃木工場)

救護協力 (公社) 栃木県柔道整復師会

協 賛 王子製紙、大塚製菓、環境整備、北関東総合警備保障、サカティンクス、滝沢ハム、DICグラフィックス、日本製紙、日本生命 (五十音順)

日 時 令和2年1月26日(日) 雨天決行

1. 集 合・監督会議 8 : 5 0
2. 開会式 9 : 1 5 県庁・本館ロビー
3. 往 路スタート 1 0 : 0 0 県庁正門
4. 往 路フィニッシュ 1 1 : 3 0 栃木市総合運動公園陸上競技場
5. 復 路スタート 1 2 : 3 0 栃木市総合運動公園陸上競技場
6. 復路フィニッシュ 1 4 : 0 0 県庁正門
7. 閉会式 1 5 : 0 0 県庁・本館ロビー

往 路	コース (キロ数)	復 路
第1区 男子 (高校・一般)	栃 木 県 庁 ～ 栃木県子ども総合科学館 <往路 8.45 キロ 復路 8.49 キロ>	第10区 男子 (高校・一般)
第2区 女子 (中学生以上)	栃木県子ども総合科学館 ～ マルシェ安塚店 <往路 3.25 キロ 復路 3.23 キロ>	第9区 中学生女子
第3区 男子 (高校・一般)	マルシェ安塚店 ～ 壬生西高野歩道橋南 <往路復路とも 8.11 キロ>	第8区 男子 (高校・一般)
第4区 中学生男子	壬生西高野歩道橋南～大神神社前 (室の八嶋入口交差点) <往路 3.45 キロ 復路 3.53 キロ>	第7区 中学生男子
第5区 男子 (高校・一般)	大神神社前 (室の八嶋入口交差点) ～ 栃木市総合運動公園陸上競技場 <往路 6.96 キロ 復路 6.84 キロ>	第6区 男子 (高校・一般)

- 競技方法
1. コース 県庁～栃木市総合運動公園陸上競技場 往復
 2. 総距離 60.42 キロメートル
 3. 区 間
 4. 繰り上げスタート
- ※トップと下位チームの差が10分ついた場合は繰り上げスタートを実施する。(全区間)

- 参加資格
- 競技者は2019年度栃木陸上競技協会に登録してある者。ただし、中学生は除く。
競技者は原則、居住地の郡市町からの出場を最優先とする。
- (1) 中学生は各郡市町居住者であること。※中学生は在籍中学校の郡市町から出場することができる。
 - (2) 高校生は各郡市町居住者であること。県外から県内の高校に通学している選手は、在籍している高校の所在地の郡市町から出場することができる。なお、県外の高校へ通学している生徒の出場を認める。
 - (3) 一般・大学生について、県内在住者は居住地から、県内出身の県外居住者は出身郡市町から出場する。県外出身の県外居住者は県内勤務地及び県内大学所在地から出場することができる。県外から県内の高校・大学に在籍していた選手は、在籍していた高校・大学の所在地の郡市町から出場することができる。
 - (4) 郡市町単独チームのこと。
 - (5) 各郡市町は何チームでも参加できる。

- 競技規定
1. 郡市町対抗とする。
 2. 各郡市町出場競技者は10名、補欠は5名以内、監督1名、マネージャー1名とする。ただし、申込以外の補欠は認めない。
 3. 競技者1人が出場しえる回数は1回とする。
 4. 第2区は女子(中学生以上)、第9区は中学生女子とし、第4区と第7区は中学生男子とする。
 5. 10区間のうち高校生男子2名、中学生男子2名、中学生女子1名、女子(中学生以上)1名を必ず配置し、他は高校生男子、一般男子(大学生を含む)のいずれでもよい。
 6. 2チーム以上出場しているチームの補欠については共通の補欠とし、チーム間で起用することができる。
 7. 参加申し込み(メンバー、オーダー提出)後のオーダー変更提出は、大会前日1月25日午後1時を期限とする。大会当日のオーダー変更は原則認めない。
 8. 各中継所のコール(点呼)は、第1コールを通過予定時刻の20分前、最終コールを通過予定時刻の10分前とする。詳しくは、大会コース参照のこと。
 9. 1区間の途中で走者を交代させることはできない。
 10. 走者が途中で競技を続行することができない状態になったとき、審判長の指示により競技を中止させる場合がある。競技を中止させられた場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。
ただし、そのチームは審判長の指示に従い次区間走者から再び競技を続行することができる。この場合、そのチーム全体の記録、成績は認められないが、各区間の記録は認められる。なお、大会当日、チーム編成ができない場合はオープン参加とする。ただし、各区間の記録は認められる。
 11. 競技者は必ず胸と背部に郡市町名と番号を記入の「ナンバーカード」をつける。
 12. 走者はいかなる場合といえども大会役員により競技中止を命ぜられた時は、直ちにその指示に従わなければならない。
 13. 走者は車道の左側を走らなければならない。なお、交差点においては中心より右に出てはならない。
 14. 各チームの監督はレース監察のため、県庁昭和館でとちぎテレビによる中継で観戦する。(監督は大会本部で用意するチーム名入りの腕章をつけること)
 15. 各チームの車両は一切レースの中に入ってはいけない。
 16. その他は日本陸上競技連盟競技規則駅伝競走規準による。
 17. 参加競技者には大会主催者にて保険をかける。
 18. 当日の大会開催有無についての広報は、下野新聞社ホームページ「SOON」(午前6時)、栃木放送(午前6時03分頃)にて放送する。

参加料 参加料は1チーム30,000円とする。

表彰	◇団体	・優勝	優勝旗
		・優勝～3位	賞状、賞品
		・4～8位	賞状
		・往路優勝	賞状
	◇個人	・復路優勝	賞状
		・優勝～3位	各人に賞品
		・区間賞	賞状、賞品
		・最優秀選手賞 (1名)	賞状、賞品
		・優秀選手賞 (2名)	賞状、賞品
		・優秀監督賞 (1名)	賞状、賞品
		・功劳賞	選手=10回以降5回ごとの出場者 賞状、賞品
			監督=10回ごとの出場者 賞状、賞品